

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
(1)支援事業	入院中の患児とその家族への応援事業	院内イベント	随時	・千葉県こども病院 ・千葉大学医学部 附属病院小児科 ・成田赤十字病院 小児科	2名	不特定多数	947
	退院後の患児・家族の交流を目的としたイベントの開催	キャンプ	R2.9.19(土) ～21(月) (新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	山梨県 清里 キーズ自然学校	—	—	0
		はげつり	R2.10.3(土) (新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	千葉県市花見川河川敷	—	—	0
	茶話会	年1回	千葉県こども病院	2名	不特定多数	0	
	経験者交流会	R2.11.23(月) (新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	千葉県内	—	—	0	
	いっぶく亭	毎週火曜 (新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	千葉県こども病院	—	—	0	
	成人医療移行支援 (医師会勉強会)	年1回 (新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	千葉市内	—	—	0	
	(2)啓発事業	患児家族向け講演会	中止	—	0名	0名	0
		公開講座	中止	—	0名	0名	0
		小児がん学会	R2.11.20(金) ～22(日)	福島県郡山市 (新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン開催)	3名	不特定多数	0
支援自販機		随時	千葉県内		不特定多数	65	
(3)広報事業	ホームページの運営	随時	社員自宅	4名	不特定多数	562	
(4)会報誌発行	会員対象の会報誌(ミル フィユvol.10)の 印刷、郵送	R2.4.29(水)	社員自宅	1名	会員約200名 ・各施設での 外来通院患者 ・家族150名	491	

## 令和2年度特定非営利活動に係る事業報告書

支援事業では、単調な入院生活に日常性を少しでも取り戻せるよう、季節にあわせ様々な行事を行い、退院後の患児やその家族の交流を目的とした屋外イベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を決定した。

そのような中、新しい取り組みとして遠隔操作ロボットを、支援事業を行っている各病院に導入した。ロボットにはモニターやカメラが搭載されており、Wi-Fiを通じて遠隔操作ができるよう車輪がついている。今年度はロボットを国立科学博物館へ派遣した。子どもたちは病室にいながらパソコンを通じてロボットの操作を行い、博物館のセンター長と一緒に博物館の展示を見て回り、お互い画面越しに会話をすることができた。また、入院患児のきょうだいと病棟をロボットで繋げ、病院での様子を実際にみてもらいコミュニケーションをサポートする活動を行った。

そのほか、スタッフ事務所からオンラインによるバレンタインチョコレート作りや、千葉県こども病院において入院中のご家族を対象にした茶話会を開催した。

ホームページは刷新し、活動の内容を随時掲載することで、会員だけでなく広く社会の皆様への情報提供に努めた。

会報誌はミルフィーユvol.10を発行することができた。

その他、千葉県こども病院と千葉大学医学部附属病院小児科、成田赤十字病院、そして千葉県がんセンターでの犬とのふれあい活動のボランティア団体CAPPへの感謝として毎年カレンダー製作・贈呈しているが、今回は従来通りの子どもたちが描いた絵ではなく、ミルフィーユ独自で、ボランティアの方々とワンちゃん、そして子どもたちの写真を載せたカレンダーを制作した。